

令和5年5月1日

## 電子処方箋の用法マスタに関する提言

一般社団法人日本医療情報学会  
代表理事 小笠原 克彦

令和4年10月に医療DX推進本部が設置され、国民の保健医療の向上を図るとともに、最適な医療を実現するための基盤整備として「全国医療情報プラットフォームの創設」、「電子カルテ情報の標準化等」、「診療報酬改定DX」の3つを柱として施策が進められています。

医療情報の標準化については医療政策や研究開発の促進にも資することから、日本医療情報学会においても、これまで「HS027：処方・注射オーダー標準用法規格」（以下、標準用法規格）等、様々な厚生労働省標準規格の策定に尽力してきました。厚生労働省は保健医療分野で適切な情報化を進めるために、厚生労働省標準規格を採択し推奨していますが、これは標準に関する関係者合意を形成しうる団体として選定された一般社団法人HELICS協議会での採択後、厚生労働省の保健医療情報標準化会議の提言を受けて保健医療情報分野の標準規格として認定されたものです。定期的な見直し作業も策定団体が行うことになっています。

さて、令和5年1月26日から国が進める医療DXの一つである電子処方箋が開始され、医療現場の効率化や医療安全、医療機関での相互運用性等の向上が期待されています。同時に厚生労働省の電子処方箋ホームページ上に用法マスタが掲載されました（最新版：令和5年2月10日）。モデル事業の施設のマスタは、前述の標準用法規格を元に作成されているように見受けられますが、一部で仕様や付番ルールの相違が認められます。同じコードで別の意味をもつものや一意に対応できないものも見受けられ、医療安全上のリスクが生じるとともに、標準用法規格とは異なる規格が乱立することで現場が混乱し、電子処方箋の役割として期待されていることや医療機関間の相互運用性、データの二次利用の向上等を損なう可能性が懸念されます。

標準用法規格は、平成22年1月29日に厚生労働省医政局総務課医療安全推進室が発出した「内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会報告書」に記載されている「服用回数・服用のタイミングに関する標準用法マスタ」を含む規格であり、用法記述の標準化も目的として策定されました。策定手順は、日本病院薬剤師会と日本薬剤師会が用法追加や用法記述について検討し、日本医療情報学会が標準用法規格（コード記述ルール）について検討する手順で行われております。現場の最新状況を踏まえて、関係者と協議して適宜見直す作業は策定団体および厚生労働省の責務であり、標準用法規格の策定プロセスから離れて規格が乱立することは決して好ましい状況とは言えません。標準用法規格はその名の通り標準的な用法であり、必ずしも現実の世界で出現する用法と完全には一致せず、ある程度絞られて

います。但し、標準用法規格で定められたルールに従って対応付けができるような検討は必要と考え、改めて厚生労働省標準規格のあり方を再確認するために提言いたします。

\* 厚生労働省標準規格「HS027：処方・注射オーダ標準用法規格」は、以下のページに掲載されています。

<https://www.jami.jp/jamistd/>

・ JAMI 標準 (JAMISDP01)：処方・注射オーダ標準用法規格

### 【課題例】

#### 1. 1日1回16時

電子処方箋用法マスタのコードは「1031000000000000」となっていますが、標準用法規格のコード体系では「1031Q000000000000」となります。

#### 2. 1日〇回 貼付

電子処方箋用法マスタのコードでは「2A7X000000000000」と表現されますが、回数が明確に指定されていないため正確な情報伝達できません。「〇」の部分は処方オーダの入力時に指定する数字が入ると考えられますが、システム間での情報連携を行う際は、コードのみで処理すると「1日〇回」という形式で表示され、入力時に指定した数字が伝わらないことがあります。

さらに、電子処方箋用法マスタでは可変の数値に対応する記号として「X」が使われていますが、標準用法規格においては特定の役割（時刻指定における23時）が割り当てられています。1つの文字に複数の意味を持たせることは、利用者に混乱を招く恐れがあります。

#### 3. 1日2回起床時と就寝前に関する用法

本用法に対するコードが2種類あり、医療機関側はどのコードに紐づければよいか判断に迷う可能性があります。

XX621000900000000	生活リズム型	1日2回起床時と就寝前
XX121000900000000	食事ベース型	1日2回起床時と就寝前
10121000900000000	食事ベース型	1日2回起床時と就寝前 服用

#### 4. 1日1回朝食中

電子処方箋用法マスタのコードでは「1011000900000000」となっていますが、このコードは標準用法規格では、「1日1回イベント時」と解釈されます。

以上

文責 山下 貴範（標準策定・維持管理部会 部会長）